

江戸川学園おおたかの森専門学校

学校関係者評価委員会議事録

(令和 5年度)

2024年 9 月

学校法人江戸川学園

江戸川学園おおたかの森専門学校

1. 学校関係者評価委員会開催概要

開催日時	2024年9月21日(土)午後1時30分～午後3時00分		
開催場所	江戸川学園おおたかの森専門学校 P201会議室		
参加者(敬称略)	江戸川学園おおたかの森専門学校後援会会長 江戸川学園おおたかの森専門学校同窓会会長 駒木自治会会長 社会福祉法人修央会 船橋笑寿会 相談室長 学校法人江戸川学園江戸川大学教授	川崎 一也 皆川 博行 渡邊 治 平尾 悟 神田 洋	
学校側参加者(オブザーバー)	江戸川学園おおたかの森専門学校 " " " " "	校長 校長代行 副校長 副校長 副校長 書記	木内 英仁 原田 聖子 小林 恵一 岩田 真生 蓮尾 華雄 檜崎 浩幹 奥山 武浩

2. 議事内容

学校関係者評価委員会の趣旨及び議事進行について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 木内校長挨拶</li> <li>・ 江戸川学園おおたかの森専門学校副校長 蓮尾華雄(以下 蓮尾副校長)より議事内容・進行について説明があった。</li> <li>・ 本委員会開催に関し、「学校評価に関する関連法令」及び本委員会の開催主旨、評価結果の開示状況などについて説明がなされた。</li> <li>・ 議題は以下の2つになる。             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和5年度(2023年度)・令和6年度(2024年度)の事業計画及び進捗について</li> <li>(2) 令和5年度自己評価結果の説明および審議</li> </ol> </li> <li>・ 議事内容・進行については、「学校自己評価報告書(令和5年度)」(各評価項目)に基づいて審議し、評価を行うこととした。</li> </ul>
委員会の成立及び議長選出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本日の参加者及び欠席者を確認(委員5名のうち5名出席)し、定足数(委員の過半数)に達していることを確認。</li> <li>・ 委員の互選により江戸川学園おおたかの森専門学校同窓会会長皆川博行氏(以下 皆川氏(議長・委員長))を議長(委員長)として選出。</li> </ul>

(1)令和5年度・令和6年度の事業計画及び進捗について

- ・ 原田校長代行より令和 5年度・令和 6年度の事業計画及び進捗について説明があった。学園の事業報告については「令和 5(2023)年度事業報告書」として、本校HP上にて一般に公開している。その中で本校の事業概要として、
  - (1) 教育目標・目的
  - (2) 介護福祉学科:留学生の継続的な受入(介護福祉学科)、デュアル・システムの導入
  - (3) こども福祉学科:現場体験(課題)の再開
  - (4) 心理・社会福祉学科:実習を踏まえたうえで目指す資格を決定する。
  - (5) 社会福祉士養成学科(通信課程):授業支援システム活用による社会人の学びの応援
  - (6) コロナ禍で得た知見を活かした教育展開
  - (7) 地域社会との連携を挙げている。

(2)令和 5年度自己評価結果の説明および審議

- I. 学校の現況
- II. 評価の基本方針
- III. 重点目標

IV. 評価項目の達成及び取り組み状況

<p>(1)教育理念・目標</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 皆川氏(議長・委員長)より、(1)の項目についての説明が求められた。</li><li>・ 蓮尾副校長より、(1)の項目について、説明がなされた。</li><li>・ 皆川氏(議長・委員長)より、「(c)社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか」について、高校卒業生の減少傾向が続く中、(福祉関連に)関心・興味を抱いてくれそうな風潮はあるのかとの質問がなされた。</li><li>・ (このことについて)榑崎副校長より、介護関連等を志望する学生の減少は否めないが、人口減少の折、福祉関連だけではなく様々な分野においても同じような状況であるとの説明がなされ、その中で努力を続けていくとの返答がなされた。</li><li>・ 皆川氏(議長・委員長)より、病院内で行われる中学生対象の職場体験においても、医療・福祉に興味を持つ中学生もおり、ぜひ今後も(職場体験を)続けていただきたいとの意見が述べられた。</li></ul>
<p>(2)学校運営</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 皆川氏(議長・委員長)より、(2)の項目についての説明が求められた。</li><li>・ 蓮尾副校長より、(2)の項目について、説明がなされた。</li><li>・ 学校法人江戸川学園江戸川大学教授神田氏(以下神田氏)より、「(h)情報システム化等による業務の効率化が図られているか」について、実習支援システムとは具体的にどのようなものであるかについての説明が求められた。</li><li>・ (このことについて)原田校長代行より、実習支援システムに関する説明がなされるとともに、従来の紙による処理からの移行によるメリット等について報告がなされた。</li><li>・ 社会福祉法人修央会船橋笑寿会平尾悟氏(以下平尾氏)より、今後システムに全面的に移行するにあたって、学生及び実習生受け入れ施設等において特に問題等は生じなかったか、また今後の課題は何か、との質問がなされた。</li><li>・ (このことについて)小林副校長より、いくつかの施設ではシステム導入当初は多少なりの抵抗感があったが、順次使いやすさなどが認識されていき、心理・社会福祉学科や介護福祉学科の実習展開においては既に有効に機能しているとの報告がなされた。また、こども福祉学科においても次年度より順次導入予定であった。</li></ul>

<p>(3)教育活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 皆川氏(議長・委員長)より、(3)の項目についての説明が求められた。</li> <li>・ 蓮尾副校長より、(3)の項目について、説明がなされた。</li> <li>・ 平尾氏より、2024年度開催の「福祉のおしごとフェア」に関わり、今回の評価とは関連しないかもしれないが、学生たちの反応はどうであったかの質問がなされた。</li> <li>・ (このことについて)原田校長代行より、専ら介護福祉学科の学生が対象であったが、心理・社会福祉学科やこども福祉学科、さらには来校していた高校生等の参加があるなど、施設と学生が直接交流する場を提供でき、大変有意義な開催であったとの報告がなされた。なお、高校生の参加人数について確認がなされ、4名であった旨の報告があった。</li> <li>・ 江戸川学園おおたかの森専門学校後援会会長川崎一也氏(以下川崎氏)より、「(g)授業評価の実施・評価体制はあるか」について、授業評価アンケートはどういった方法で実施をしているのか、また「成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか」について、指針等ほどのような方法で学生に明示しているのかとの質問がなされた。</li> <li>・ (このことについて)原田校長代行より、シラバス(授業内容)はシステム(エドポタ)により表示(明示)されているとの報告がなされるとともに、「評価・認定、基準」などについてもシラバス(授業内容)と同様にシステム(エドポタ)上に表示(明記)されているとの報告がなされた。また、アンケートについては、旧来は紙による実施であったが、現在はGoogleフォームにより実施しているとした。なお、返答率の確認もなされたが旧来に比べ低下傾向にあるとの返答がなされた。</li> </ul>
<p>(4)学修成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 皆川氏(議長・委員長)より、(4)の項目についての説明が求められた。</li> <li>・ 蓮尾副校長より、(4)の項目について、説明がなされた。</li> <li>・ 神田氏より、留学生の合格率について、特定の科目や試験方法等何か合格を阻んでいることなどはあるのかとの質問がなされた。</li> <li>・ (このことについて)小林副校長より、前提として日本語による授業や試験の実施等であるため言語が大きな障壁になっているとの返答がなされた。また、原田校長代行より、留学生の学習現況などについて説明がなされた。</li> <li>・ 川崎氏より、留学生対象の国家試験の実施可否などについて質問がなされ、小林副校長より説明がなされた。その他、皆川氏(議長・委員長)より、合格率等の確認がなされた。</li> <li>・ 皆川氏(議長・委員長)より、「(e)卒業生のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか」について、卒業生の現状把握に関連し同窓会(名簿等)の整理進捗状況などについて報告がなされた。</li> </ul>
<p>(5)学生支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 皆川氏(議長・委員長)より、(5)の項目についての説明が求められた。</li> <li>・ 蓮尾副校長より、(5)の項目について、説明がなされた。</li> <li>・ 平尾氏より、「(b)の学生相談に関する体制は整備されているか」について、学生相談室における相談内容について確認がなされた。</li> <li>・ (このことについて)小林副校長より、内容は主に、学生個人の問題や家庭の問題であり具体的に内容案件・件数などは明文化・数値化等されていないとの返答がなされた。また、原田校長代行より、学生相談室における相談は特段問題がなければ、学生相談室内で納めてしまうので部外に開示されることはないとの付則が述べられた。また、平尾氏より、授業料など経済的な相談については相談室案件ではないとの確認がなされた。</li> </ul>

(6)教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 皆川氏(議長・委員長)より、(6)の項目についての説明が求められた。</li> <li>・ 蓮尾副校長より、(6)の項目について、説明がなされた。</li> <li>・ 皆川氏(議長・委員長)より、「(b)学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか」について、「体験学習」と「インターンシップ制」とは別なのか質問がなされた。</li> <li>・ (このことについて)原田校長代行より、心理・福祉学科の事例を基に「体験学習」は、(正規)実習の事前学習的な性格があり、「インターンシップ制」とは趣旨が異なり別である旨の説明がなされた。また、川崎氏より、今後の「インターンシップ制」における施設選択などについて、皆川氏(議長・委員長)より、ボランティアの現況等について確認がなされた。</li> </ul>
(7)学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 皆川氏(議長・委員長)より、(7)の項目についての説明が求められた。</li> <li>・ 蓮尾副校長より、(7)の項目について、説明がなされた。</li> <li>・ 神田氏より、学生募集について、その対象が高校生以外を対象とした対応は何かあるのかとの質問がなされた。</li> <li>・ (このことについて)榑崎副校長より、主たる対象は高校生であるが、不特定多数を念頭にSNS等のツールを駆使し積極的に展開したいとの報告がなされた。</li> </ul>
(8)財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 皆川氏(議長・委員長)より、(8)の項目についての説明が求められた。</li> <li>・ 蓮尾副校長より、(8)の項目について、概略説明がなされた。</li> <li>・ 皆川氏(議長・委員長)より、専門学校の財務状況(悪化)について近隣の福祉系学校の閉校が増加しているなか、今後の専門学校の存続可否を含めた展開について質問がなされた。</li> <li>・ (このことについて)木内校長より、今後も社会の重要な役割を担っていくとの認識はあり、できる限り存続したいと考えている。学校は一般の会社とは違い入学定員を充足し退学率等を低減できればできれば継続は可能と考えるとの認識が示された。また、逆に参入してくる学校もありその動向も注視していかなくてはならない旨の発言もなされた。また、岩田副校長より1条校との補助金格差を基に専門学校との差異が説明されるとともに、学園内の支援、専門職員の育成、地域への貢献などについて意見が述べられた。</li> </ul>
(9)法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 皆川氏(議長・委員長)より、(9)の項目についての説明が求められた。</li> <li>・ 蓮尾副校長より、(9)の項目について、説明がなされた。 (各委員によって項目の再確認がなされた)</li> </ul>
(10)社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 皆川氏(議長・委員長)より、(10)の項目についての説明が求められた。</li> <li>・ 蓮尾副校長より、(10)の項目について、説明がなされた。</li> <li>・ 平尾氏より、「(c)地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか」について、離職者等の再就職のための教育訓練の結果は、就職に結びついているのか確認がなされた。校長代行より、今年度の入学者数や就職現況について説明がなされた。卒業時に8割以上の学生が就職内定してなければならず、例年それらは達成しているとの報告がなされた。</li> </ul>
(11)国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 皆川氏(議長・委員長)より、(11)の項目についての説明が求められた。</li> <li>・ 蓮尾副校長より、(11)の項目について、説明がなされた。</li> <li>・ 神田氏より、介護福祉士の国家試験実施時期、皆川氏(議長・委員長)より、留学生の日本語検定受験状況や出身国などについて確認がなされた。</li> </ul>
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蓮尾副校長より、以上をもって全項目の評価・審議を終えたが、その他の意見・質問等について確認がなされた。</li> </ul>